



平成 27 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社C&Gシステムズ
代表者名 代表取締役社長 塩田 聖一
(J A S D A Q コード 6 6 3 3)
問合せ先 取締役 管理統括部 部長
大野 聡太郎
(T E L . 0 3 - 6 8 6 4 - 0 7 7 7)

通期連結業績予想の修正および個別業績と前期実績値との差異ならびに 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 11 月 13 日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 2 月 13 日に公表いたしました平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の通期連結業績予想を修正し、また個別業績についても前期実績値との差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。加えて、平成 27 年 12 月期の配当予想を下記の通り修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,100	300	320	270	25円59銭
今回修正予想 (B)	4,300	420	440	280	27円39銭
増減額 (B-A)	200	120	120	10	
増減率 (%)	4.9	40.0	37.5	3.7	
(参考) 前期連結業績 (平成 26 年 12 月期)	4,047	278	304	311	28円20銭

(2) 業績予想修正の理由

当社グループを取り巻く経営環境は、自動車産業を中心に製造業が好調を維持、また海外においてもインドネシア・フィリピン等のアセアン地域および北米で製造業が活況を呈しております。このような状況下、国内においては主に自動車関連業の需要により CAD/CAM システム販売が伸長したほか、海外では北米で展開している金型製造業において売上が拡大いたしました。これらの結果、売上高、営業利益、経常利益それぞれについて前回予想を上回る見込みとなったため修正いたしました。

なお当期純利益につきましては、当社個別業績において発生した税務上の繰越欠損金減少に伴う繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額の増加により増減率は 3.7% 増に留まっております。

(3) 平成 27 年 12 月期（通期）個別業績と前期実績値との差異（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	3,191	194	242	291	26 円 36 銭
今回発表予想 (B)	3,350	320	345	220	21 円 52 銭
増減額 (B-A)	158	125	102	△71	
増減率 (%)	5.0	64.9	42.4	△24.5	

(4) 差異の理由

通期連結業績予想の修正と同様の理由により、売上高、営業利益、経常利益のそれぞれについて前回予想を上回る見込みとなりました。

なお前期においては、繰延税金資産の回収可能性を精査した結果、同科目を追加計上することとなり法人税等調整額のマイナス計上が発生したことから、当期純利益が経常利益の額を上回る結果となりました。

これに対して今期においては、通期連結業績予想の修正理由に記載のとおり、当社個別業績において税務上の繰越欠損金減少に伴う繰延税金資産の取り崩しが発生し法人税等調整額が増加する見込みであることから、前期実績値と比較し当期純利益は 71 百万円減少する見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合計
前回予想	—	7.00	7.00
今回修正予想	—	10.00	10.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績	0.00	7.00	7.00

(2) 修正の理由

当社は利益配分について、企業体質の強化と将来の事業展開のための内部留保の充実を図るとともに安定した配当を行うことを基本方針とし、各期の財務状況、期間損益、配当性向等を総合的に勘案して決定しております。

平成 27 年 12 月期の配当予想につきましては、期末配当金として 1 株 7 円としておりましたが、上記方針および上記の業績予想の修正を踏まえ、1 株当たり 3 円増額し 10 円といたします。

以 上